

Firmware 外部メモリへの書き込み

2017/12/01

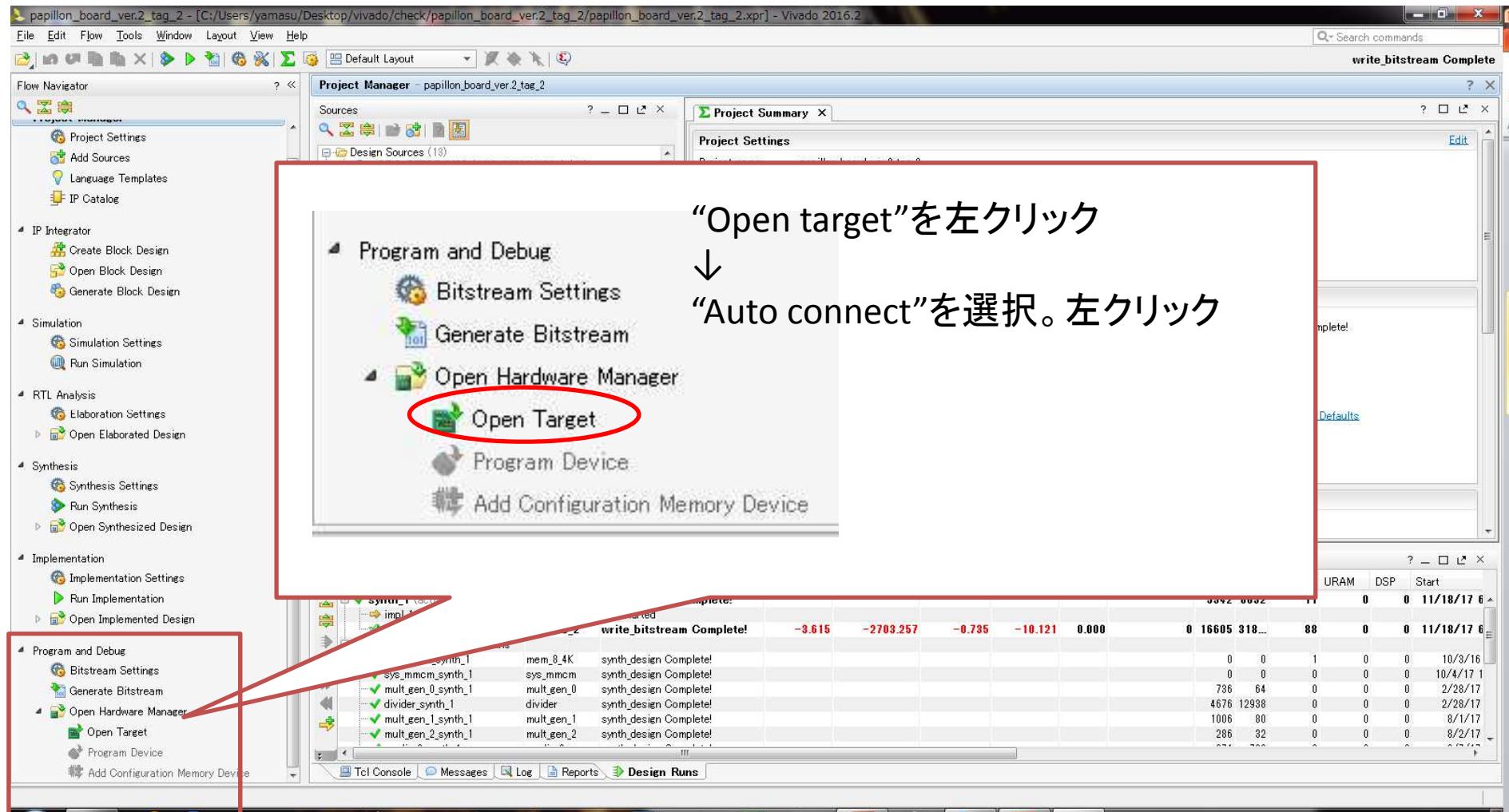
弥益 紗希

主な手順

1. Hardware managerを開き、ターゲットになるFPGAを選択
2. Firmwareを書き込むメモリを選択
3. メモリに書き込むファイルの選択
4. Firmwareの書き込み
5. 再起動

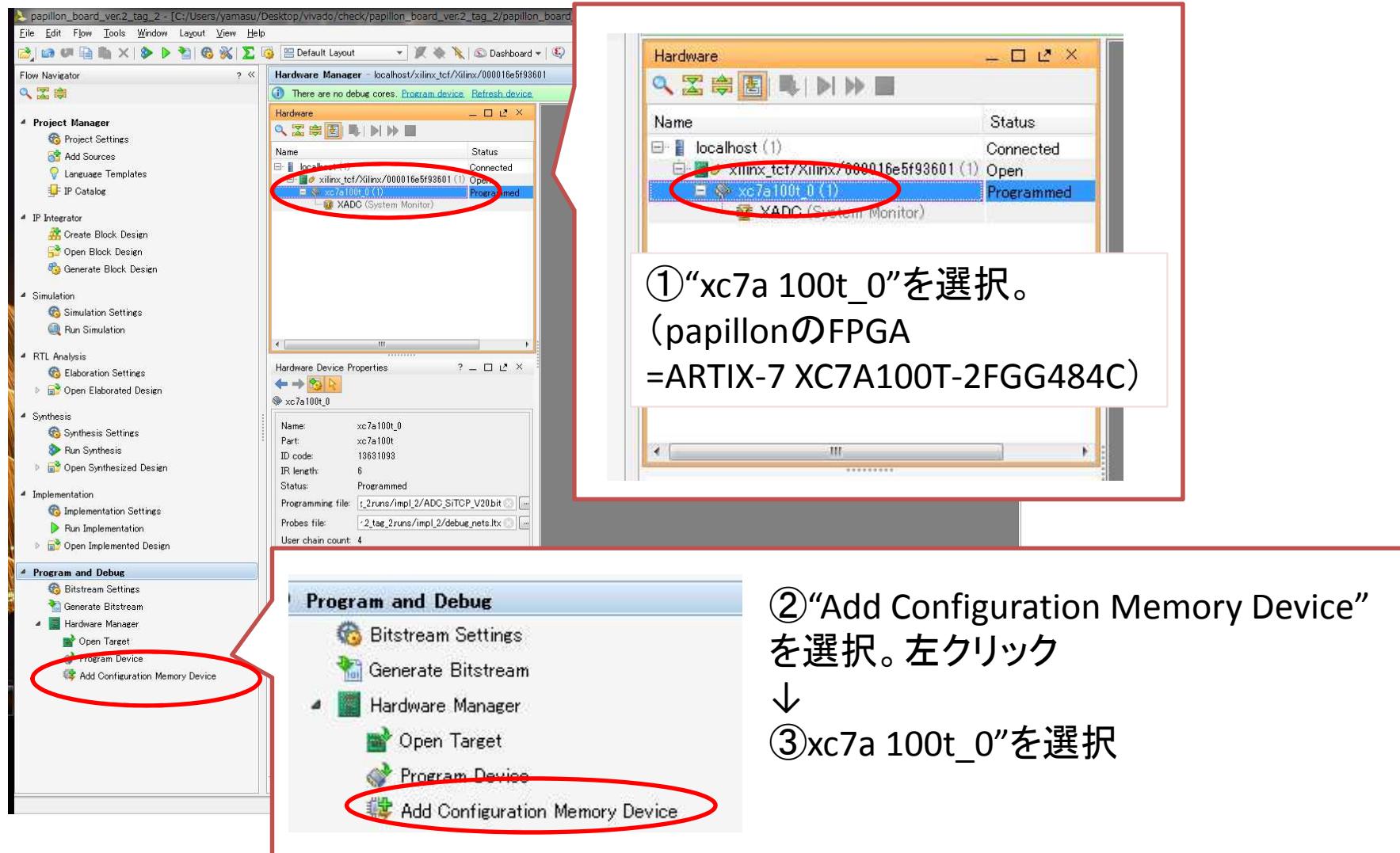
Open target

- Vivado開始画面



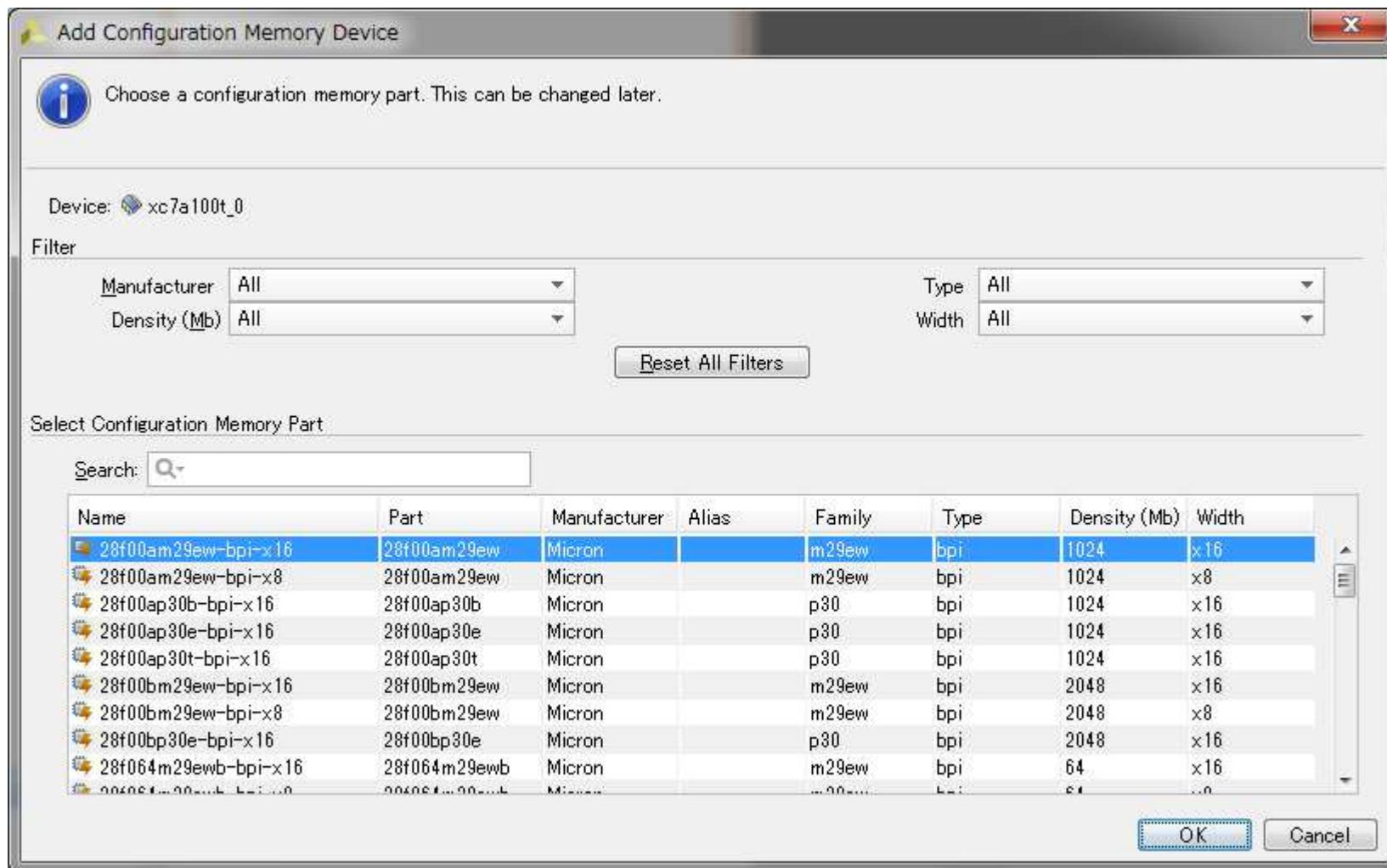
Open target

- Hardware manager画面 コンフィグレーションメモリ・対象FPGAの選択



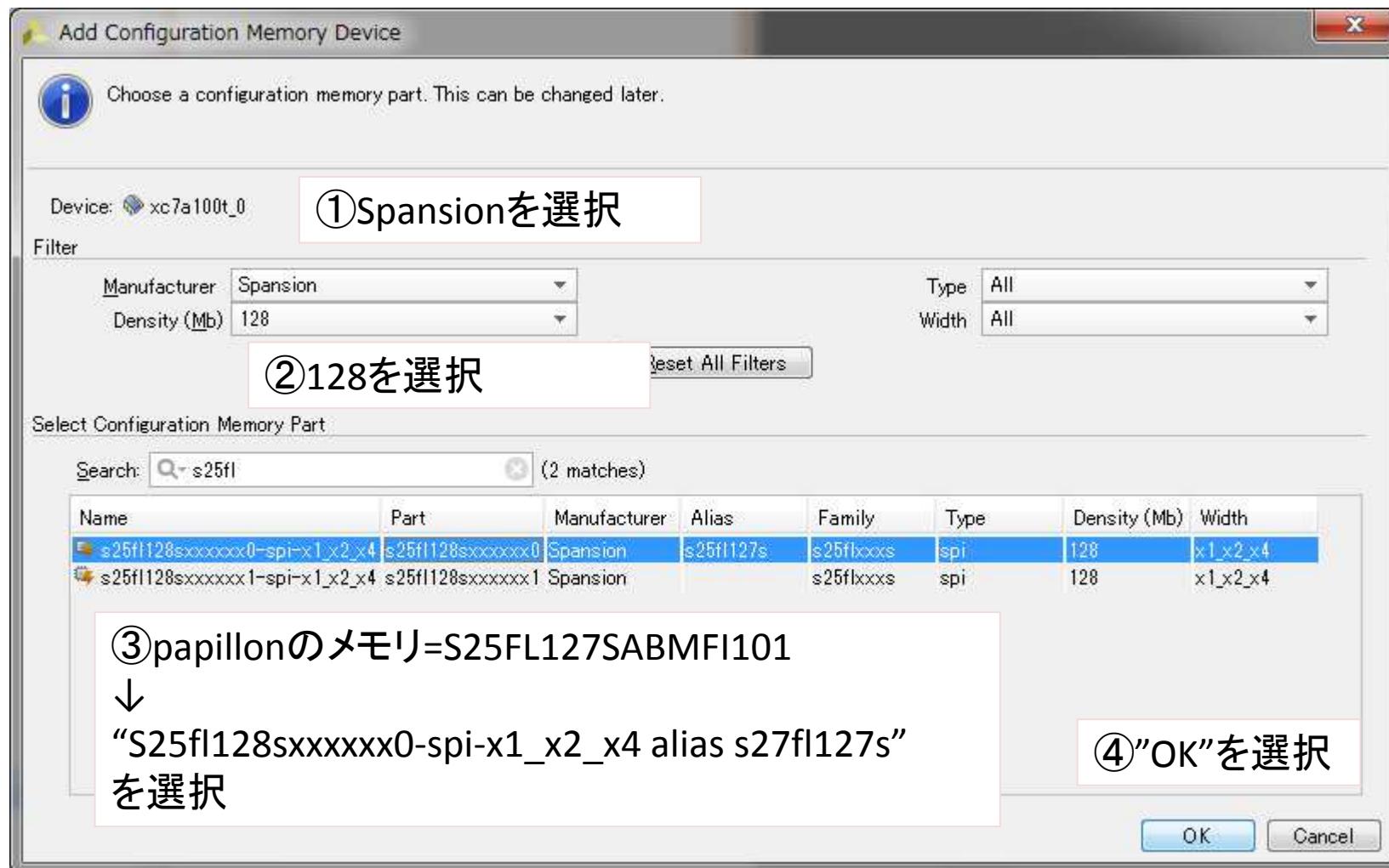
Firmwareを書き込むメモリの選択

- Firmwareの書き込み先を聞かれる

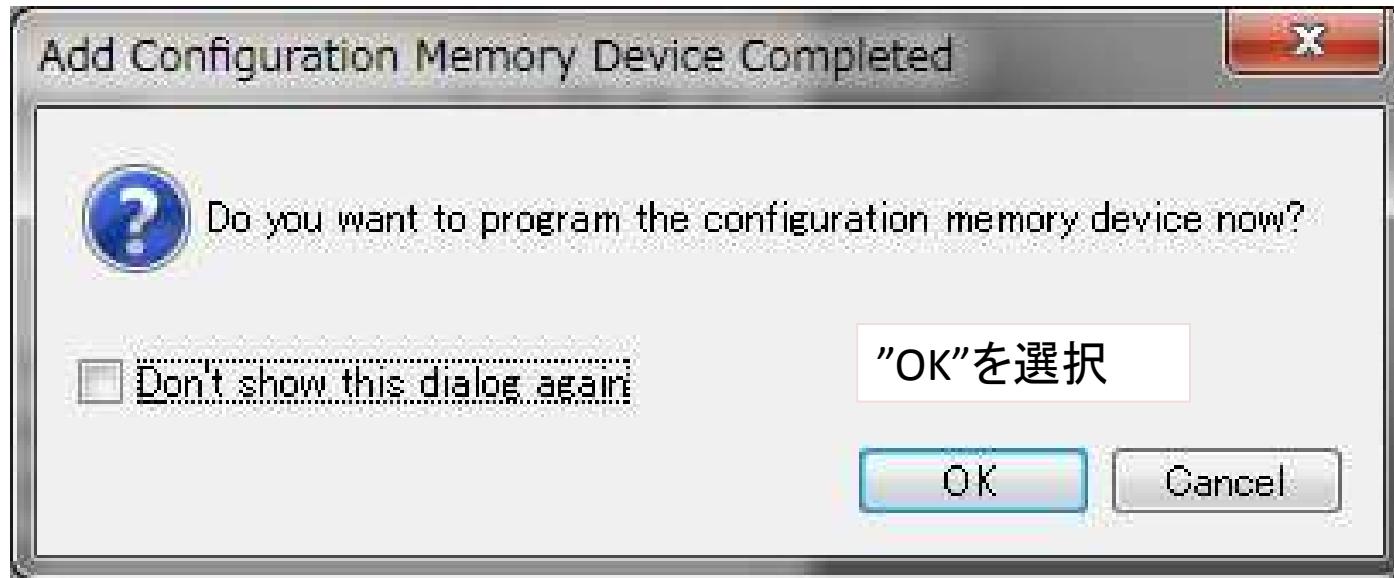


Firmwareを書き込むメモリの選択

- メモリ選択画面

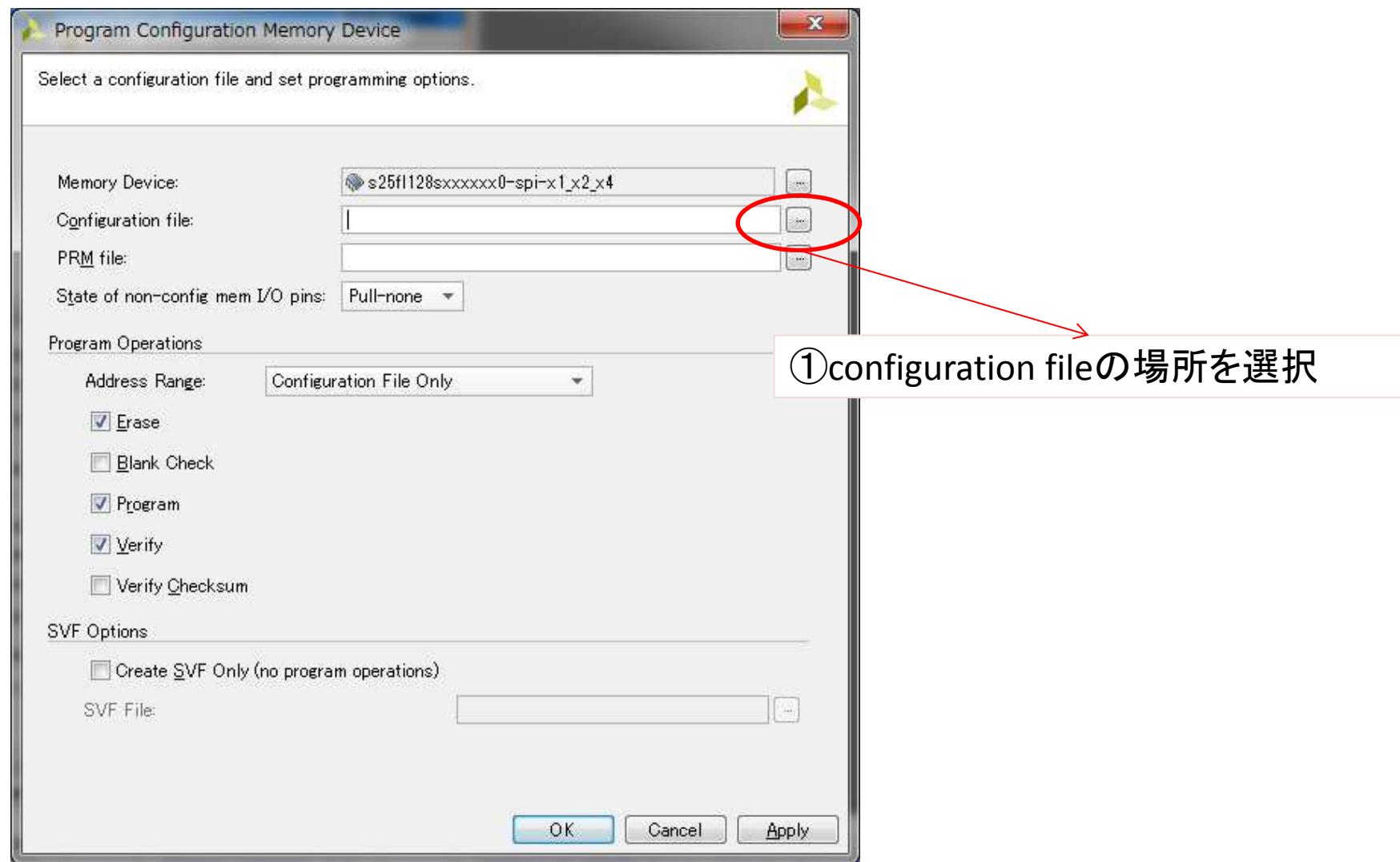


Firmwareを書き込むメモリの選択



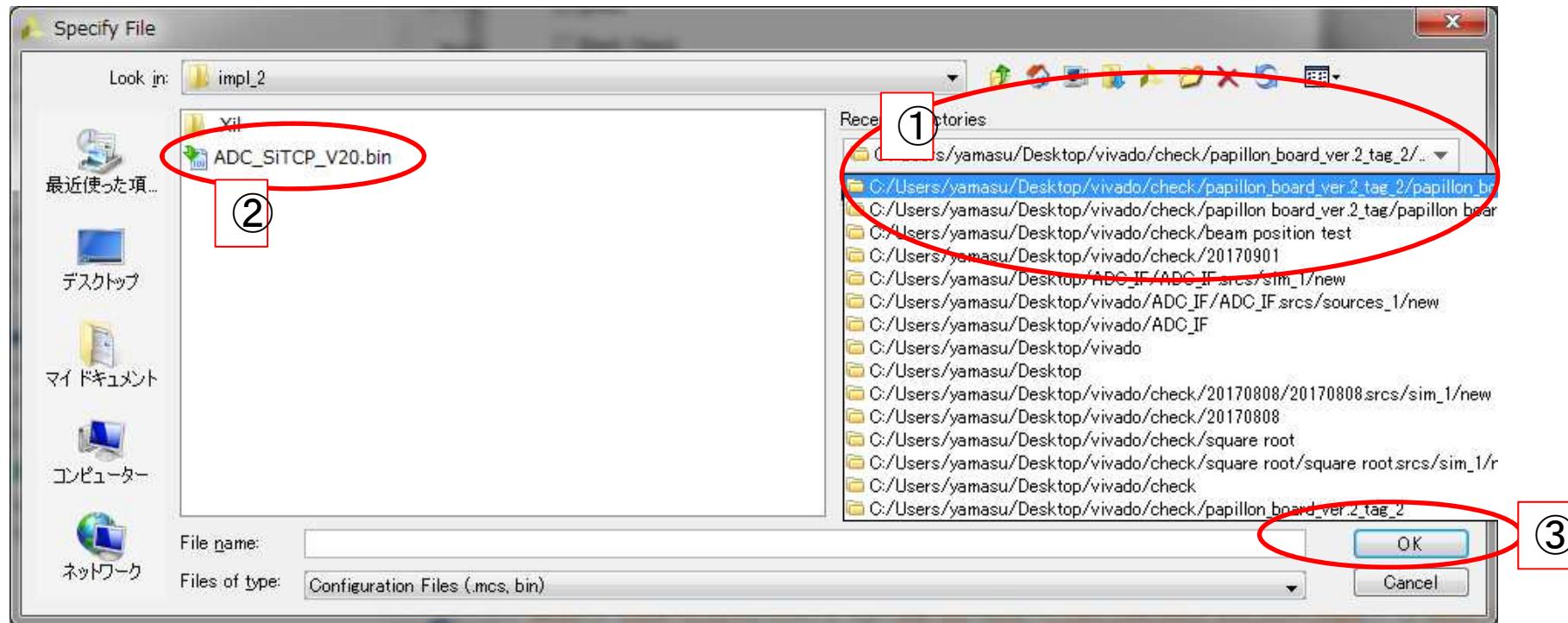
書き込むfirmwareファイルの選択

- メモリに書き込むfirmwareのファイル・オプション選択画面



書き込むfirmwareファイルの選択

- メモリに書き込むfirmwareのファイル選択画面



①書き込みファイルのディレクトリを開く

C:/projectがあるディレクトリ/papillon_board_ver.2_tag2(書き込むproject)/
papillon_board_ver.2_tag2(書き込むproject).runs/impl_2

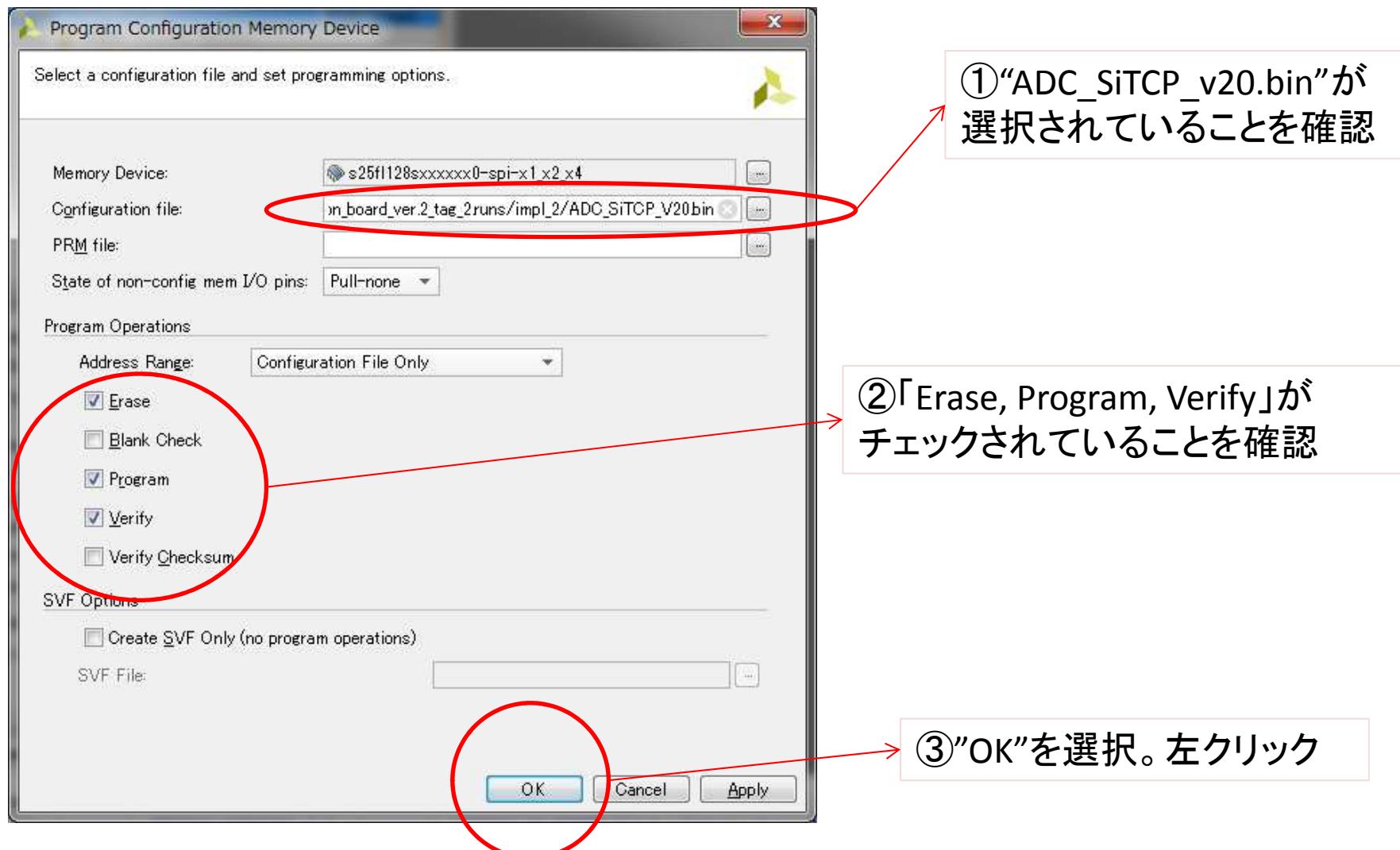
②書き込むファイル選択

“ADC_SiTCP_v20.bin”

③“OK”を選択

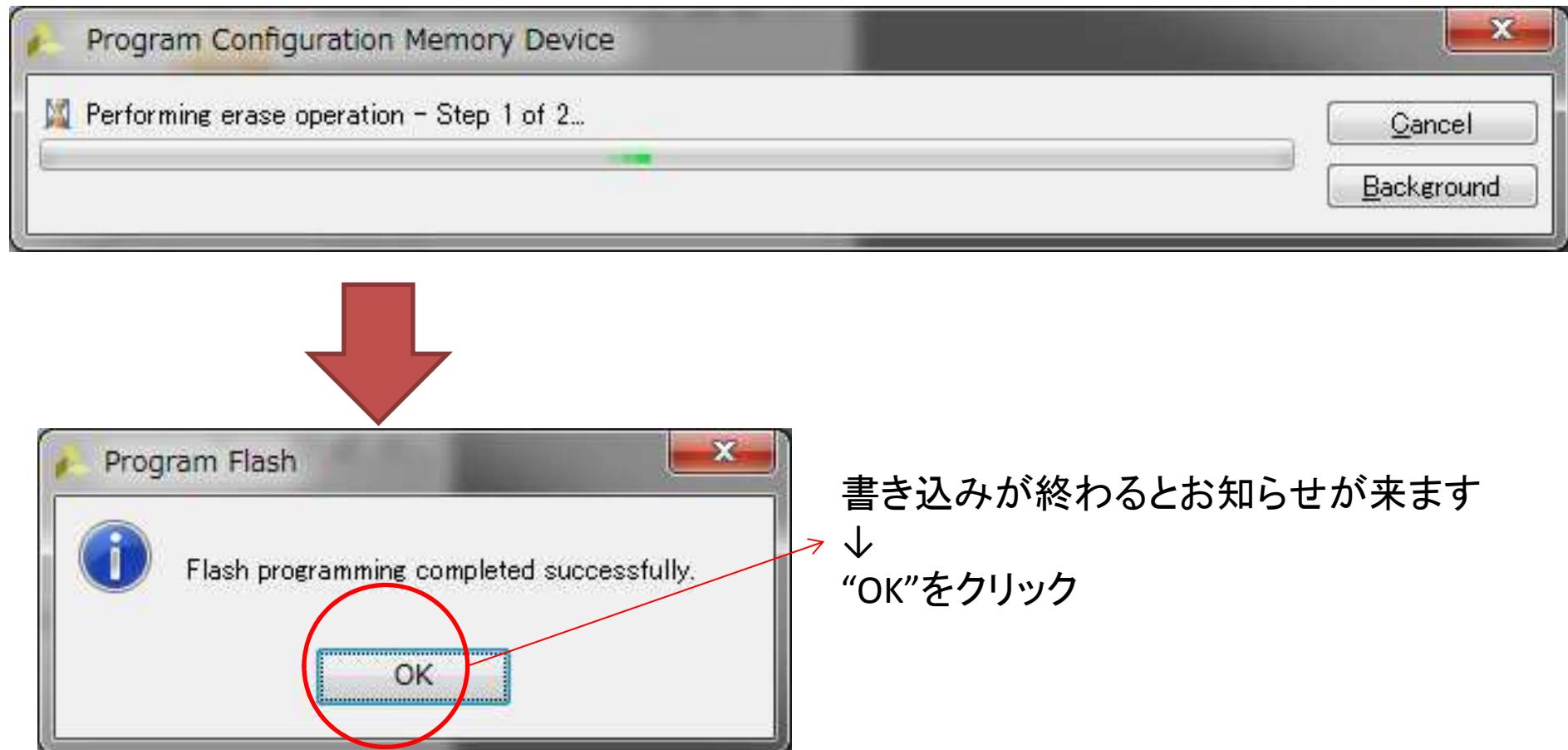
書き込むfirmwareファイルの選択

- メモリに書き込むfirmwareのファイル・オプション選択画面



Firmware projectの書き込み

- 書き込み中の画面……時間がかかります。(5分程度)



Papillon再起動

- 再起動させて自動でデータが読み込まれることを確認
1. Papillonの電源をOFF
 2. Papillonの電源をON
 3. しばらくすると DONE LEDが点灯します
 - なかなか点灯しない場合は、1,2を再度行ってください。2,3回繰り返すとLEDが点灯するはずです
 4. これでデータがダウンロードされているはずです
 1. 書き込まれているfirmwareのversionを確認したい場合は、RBCPで

```
rd 0x0 4  
⇒1711_1801(top module ADC_SiTCP_V20.vの"SYN_DATE"の値)
```

で確認できます。
 5. 初期設定 & 動作確認してください